

課題名	70 春ゴボウの安定栽培技術確立	分類	①
	2)春ゴボウの播種期及び間引き時期		
試験研究年次	63～1年(完了)		
I 目的 春ゴボウの播種期及び間引き時期が生育・収量におよぼす影響について検討し安定栽培法の確立に資する。			
II 試験方法			
1 試験場所 豊前分場 5号圃			
2 供試品種 渡辺早生			
3 試験区の構成			
(1)播種日 10月20日、11月5日、11月20日			
(2)最終間引き時期 2月2日、2月23日、3月16日 12月中に2本まで間引きしておき、以後、試験区の間引き日にそれぞれ1本とした。			
4 耕種概要			
(1)栽植密度 うね幅 180cm、条間 15cm、株間 12cm、4条播き			
(2)施肥量 (kg/10a) N:P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> :K <sub>2</sub> O=21:21:21			
(3)資材 トンネル 塩化ビニル 0.2mm、マルチ 黒ポリマルチ 0.02mm			
5 試験規模 1区 8㎡ 2区制			
III 主要成果の概要			
1 各播種期とも12月末～2月下旬頃までは、ほとんど生育は進まないが、3月上旬頃から生育が盛んとなる。			
2 間引き時期は、2月上旬～3月中旬の範囲では収量にほとんど差がない。			
3 1穴2本立てすると奇形根の発生が多く、根重も小さくなるので実用的でない。			
まとめ 間引きは地上部の生育が盛んとなる3月上旬までに行う必要がある。間引きの作業性から、3葉期までが作業適期であり、この時期は概ね2月中、下旬である。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 播種期別生育量の推移

(63～1年)

播種日	10月20日			11月5日			11月20日		
	地上部重	根重	根径	地上部重	根重	根径	地上部重	根重	根径
	g/本	g/本	mm	g/本	g/本	mm	g/本	g/本	mm
2月2日	2.0	2.3	5.0	1.9	0.9	3.7	1.0	0.3	3.0
2月23日	8.0	3.9	6.1	7.0	2.6	5.4	3.9	1.4	4.8
3月9日	22.6	7.4	7.6	16.1	4.5	6.7	9.4	3.1	6.0
4月10日	94.4	33.9	14.0	97.4	29.4	13.8	73.0	21.4	12.4

注) 被覆開始日: 12月25日、間引き日: 2月23日

第2表 間引き時期と4月10日の株の大きさ

(63～1年)

間引き日	10月20日			11月5日			11月20日		
	地上部重	根重	根径	地上部重	根重	根径	地上部重	根重	根径
	g/本	g/本	mm	g/本	g/本	mm	g/本	g/本	mm
2月2日	88	32	14.9	102	30	14.6	74	21	12.4
2月23日	94	34	14.0	97	29	13.8	73	21	12.4
3月16日	78	33	13.9	72	26	13.1	61	21	12.4
無処理	70	25	12.3	58	18	10.7	50	13	10.1

注) 無処理は、1穴2本立て

V 成果の評価と取扱上の留意点

春ゴボウ栽培基準作成上の資料とする。

VI 今後の研究上の問題点

VII 資料名

63～1年度 福岡県農業総合試験場 豊前分場 普通作物研究室 野菜試験成績書